

榑崎智亜



[世界トップ選手とオンラインで会える]

「挑戦する楽しさを体感してほしい」

8月21日に開催されるオンラインイベントへの意気込みを榑崎智亜に聞いた。

福田剛=文

text by Tsuyoshi Fukuda

榑本麻美=写真

photograph by Asami Enomoto

1996年6月22日、栃木県生まれ。10歳の時に競技を始め、高校卒業後にプロ宣言。2016年にボルダリングW杯初優勝、同年の世界選手権ではボルダリング種目で、日本人として初優勝。19年の世界選手権ではスピード、ボルダリング、リードの3種目で争う複合種目でも初優勝を達成。170cm、60kg

※写真は2019年イベント時に撮影したものです

Let's make the best memories with Tomoa Narasaki

2018、19年とNumberとアイディアホームのコラボレーションにより実施された「家族で楽しむスポーツクライミング体験会」が今回は初めてオンラインで開催される。子ども達を指導してくれるのは、8月の東京で金メダルの期待がかかる世界トッププロフリークライマー・榑崎智亜だ。「初めてのオンライン開催になりますが、画面を通してクライミングの楽しさをみんなに伝えていきたいと思っています」

この1年は大会の延期や中止が相次ぎ、榑崎自身、試合ができない状況が続いた。「こういうときこそ今できることを確実にやるのが大切だと思っているので、もう一度自分の弱点と強みを確認して、弱点だったスピードとリードの順位を上げるために、しっかりと練習を積んできました」

3月に行なわれた大会では、スピード種目の日本記録を更新。8月の東京に向けて着実に調子を上げている。

「5月のW杯は久しぶりに観客を入れての大会だったんですけど、本当にエネルギーをもらいましたし、改めてクライミングの楽しさを感じました。子ども達も部活だったりボルダリングの大会がなくなってきたために、練習の成果を発揮できる場所がなかったと思います。今回は子ども達を送ってくれたクライミング動画にアドバイスするコーナーもあるので、これまでがんばってきた成果をぜひ見せてほしいですね」

クライミングで一番大切なのは「挑戦すること」と榑崎は言う。

「何度も挑戦して、ゴールに辿り着いたときの達成感が味わえるのはクライミングならではの魅力だと思います。初心者の子も達も体験会を通じて、挑戦する楽しさを知ってもらいたいですね」

この夏の家族の思い出に、スポーツクライミング体験会に今すぐ応募しよう！